

# 大久野島ビジターセンター便り

Vol.78 (H29.9.12)

大久野島は、9月に入ったとたん風がさわやかになりましたが、みなさんのお住まいの地域はいかがですか？今年も猛暑日が続き、暑さ厳しい夏となりました。

今年は夏の特別クラフト体験を1日だけ館外の玄関前で実施しました。アメリカスズカケノキやヤマモモの大木がとても広い日陰を作ってくれているため、風も通って涼しく、参加者のみなさんもいつもよりは涼しく？！体験していただけたようです。外で実施するのは初めてでしたが、海から吹く風の心地よさやヤマガラ捕食風景の観察も出来ました。

今回は、外で実施したクラフトの様子とその日の動植物の様子をみなさんにご紹介いたします。

## 屋外で楽しもう！



### 【屋外でのクラフト体験風景(2017.8.19)】

- ・アメリカスズカケノキやヤマモモの大木のおかげで、広い範囲が影となり快適です！
- ・海風がちょうど吹き抜ける場所ですので、ウサギたちもこの場所によく集まって涼んでいます。



### 【屋外でのクラフト体験風景(2017.8.19)】

- ・太陽の向きに合わせて、会場も移動しました。午後はビジターセンターがつくる影の中に入り実施しました。木々たちのつくってくれた日陰のありがたさを感じる事が出来ましたね！



### 【アメリカスズカケノキの葉っぱ(2017.8.19)】

- ・アメリカスズカケノキは、大人の顔がかくれるぐらいの大きな葉っぱも枝先についています。
- ・セミや小鳥が飛んできたり、ウサギたちが休憩しにきたり…と生き物たちの憩いの場所です。



### 【セミをつかまえたヤマガラ(2017.8.19)】

- ・セミの「ギーギー」という声が聞こえたかと思うと、ヤマガラがセミを脚でつかまえて地面に降りてきました。セミも抵抗していたので、なかなか上に飛び立つことが出来ませんでした。なんとかヤマモモの枝にとまりました。



### 【ヤマガラが食べ終わった直後(2017.8.19)】

- ・ヤマガラが食事し終わると、上から落ちてきました。頭とお腹の部分がきれいに食べられていました。
- ・この状態になっていても、アブラゼミは少し動いていましたが、少しすると動かなくなりました。

### 【スズメバチの食事風景(2017.8.19)】

- ・しばらくして、セミが動き始めたので見にいってみると、スズメバチがセミを食べていました。
- ・約2時間の間でも、生き物たちのつながりを観察出来ました。

## 実施報告

夏休み期間中に、特別クラフト体験「うちわを作ろう!」「針金でトンボを作ろう!」「貝殻でフォトフレームを作ろう!」を実施致しました。それぞれの体験を通して、大久野島の自然のことをみなさんに学んでいただきました。暑い中、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

### ●うちわを作ろう! (8月5日実施)

- ・竹原市は竹で町おこしを行っています。竹が原料の紙漉きは、地元施設「竹の駅」駅長の坂元静馬さんが独自の方法で考案されたものです。
- ・和紙を作り、うちわの大きさに紙を切り、骨に貼り付ければ完成です!
- ・島にいる生き物のスタンプや、植物の葉っぱスタンプを押して、どんな動植物がいるかを学びました。





### ●針金でトンボを作ろう！（8月19日実施）

- ・しおりで、ビジターセンターのこと、島に生息しているトンボの種類を学びました。
- ・ビーズを目にして、トンボの形に針金を曲げて、安全ピンにまきつけたら、トンボブローチの完成です。マジックで好きな色にぬって仕上げました。

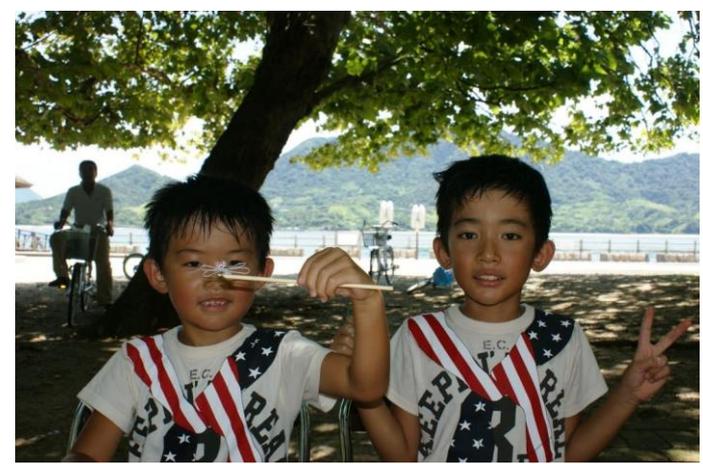


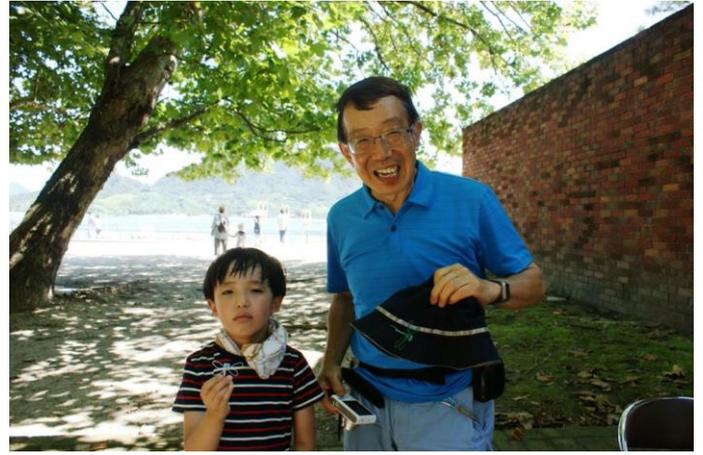
### ●貝殻でフォトフレームを作ろう！（8月26日実施）

- ・大三島の自然を守る会から講師として小澤さん親子、会長の菅さんに来ていただき、貝殻やシーグラスなどでフォトフレームを作りました。
- ・瀬戸内で拾うことの出来る貝やシーグラスのことなどを、先生のお話しやしおりなどで学びました。



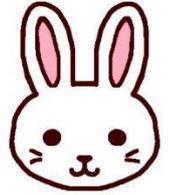
記念写真







特別クラブ体験は、毎年  
夏に実施しているよ！興  
味のあるかたは、電話で問  
い合わせしてみてね！



大久野島ビジターセンター便り vol. 78 H29. 9. 12 発行  
発行・編集：大久野島ビジターセンター  
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島  
電話・FAX：(0846) 26-0100  
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）  
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場